



理事長
原 淵 保明

日本耳鼻咽喉科免疫アレルギー感染症学会 (Japan Society of Immunology, Allergology and Infection in Otorhinolaryngology: JIAIO) (<http://www.jiaio.umin.jp/index.html>) は、日本耳鼻咽喉科免疫アレルギー学会と日本耳鼻咽喉科感染症・エアロゾル学会の両者が2020年に統合し、2021年1月に発足した学会です。

本学会は日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会傘下の学会の中では臓器別に構成された他の学会とは異なり、耳鼻咽喉科・頭頸部外科の全領域にわたる免疫、アレルギーおよび感染症に関する網羅的・横断的な臨床と研究の進歩と発展を図ることを目的としています。

本学会が網羅する分野・疾患としては、(1)鼻アレルギー、口腔アレルギー症候群、喉頭アレルギーを代表とするアレルギー疾患、(2)中耳炎、副鼻腔炎、咽頭・扁桃炎、喉頭炎、頸部膿瘍などの感染症、(3)好酸球性中耳炎、好酸球性鼻副鼻腔炎などの好酸球性炎症、(4)近年、人口の高齢化と共に増えてきたANCA関連血管炎性中耳炎(OMAAV)や肉芽腫性血管炎、IgG4関連疾患、扁桃病巣疾患(TIAS)といった自己免疫・自己炎症性疾患、(5)このような疾患の病態解明・治療につながる上気道粘膜免疫学、(6)今やがん治療の大きな位置を占めているがん免疫療法、(7)その基礎となる分子腫瘍学・腫瘍免疫学、そして、(8)上気道感染症の局所療法として重要な位置を占めているエアロゾル療法が挙げられます。これらの疾患は耳鼻咽喉科・頭頸部外科領域で頻度の多い疾患であり、耳鼻咽喉科・頭頸部外科医として精通していなければならない臨床的・基礎的研究分野です。加えて、互いに研究方法や診療方法などで共通するものがあり、それらを横断的に研究し、診療に生かすことが本学会の目的の大きな柱となっています。

本学会は日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会傘下の学会の中でも新しい学会として、学術・診療レベルの向上、横断的領域の融合化、国際化推進、若手・後進の育成、女性医師の参画を目的に、会員のモチベーションが高まる新たな魅力的な学会企画を多く掲げています。その中でも、若手・後進の育成、女性医師の参画には最も力を注いでおり、現在以下の事業に取り組んでいます。

1. 女性医師の学会運営への参画

女性理事枠を設け、各種委員会委員が15/52名(29%)と、理事以外の役員のうち約30%を女性が占めています。

2. 男女共同参画委員会の事業

女性医師と若手男性医師が参加したオンライン座談会 (http://www.jiaio.umin.jp/common/pdf/jiaio_danjo.pdf)。



3. 若手医師を対象とした奨励賞



4. 若手研究者の育成

(ア)若手研究者・臨床医を対象としたセミナーの開催

(イ)若手会員を対象とした親睦会の開催(学術講演会終了後)

(ウ)海外留学のサポート:

学術講演会にて現在留学中の会員とのライブトーク

新しく誕生した本学会は多くの若い耳鼻咽喉科医が喜んで参加するためには何が必要かを常にディスカッションし、新たな企画に次々と取り組むことによって、10年先の進歩と発展を見据えて新たな潮流を創りあげることに邁進しています。